

完全雇用なのになぜ追加財政、金融緩和を続けるのか

BNPパリバ証券チーフエコノミスト
河野 龍太郎

- *私が株価見通しに強気な背景
- *労働分配率低下の三つの理由
- *拡大が続いている経済格差の行方
- *バブル発生の可能性も
- *円安による家計いじめは続いている
- *非正規雇用増大の問題点
- *必要な社会保障制度の見直し
- *消費税は増税の仕方に工夫を
- *日銀が引き起こすモラルハザード
- *ベーシックインカムは不可能な政策



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

ここしばらく選挙で大騒ぎしております、はじめに経済を考える時間が少なくなっておりますが、今日はおなじみの河野龍太郎さんに来ていただきました。理論的なこと、それから現在の状況についての解説をじっくりとお聞きいただけます。経歴は紙に書いてございますのでご覧いただきたいと思えます。それは河野先生よろしくお願いいたします。（拍手）

私が株価見通しに強気な背景

河野 BNPパリバの河野でございます。本日はありがとうございます。

選挙も終わりましたが、先週、私はニューヨークに行っていました。先々週の週末にI

MF世銀総会がありまして、そちらに参加して1週間、ニューヨークのヘッジファンド等を回ってきて、選挙直前に帰ってきました。今日いらっしゃる方は株価なども非常に興味おありの方もいらっしゃると思います。海外の投資家から聞かれたのは、「株が上がっているけれど与党が勝って何か大きく変わるのか」と。私は、株は上がるけれども特に変わっているわけではないと言っております。

ここ4年半、構造改革が特に進んでいるわけでもない。そもそもご案内のとおりですが、安倍さんが今回なぜ選挙に踏み切られたのかと。もちろん大義名分としては、北朝鮮問題に対してどうするかということや、消費増税に対して、その用途を変更することを国民に問うというこ